

04. ● 8月5日(金) 尻別岳(1107m) 晴

・ニセコ、真狩、ルスツ、喜茂別あたりを走っていると、きれいなすり鉢型をしていて小型の羊蹄山のような山の裾を通る。いつもなんて云う山かな、登ってみたいなど思っていた。調べると尻別岳という山で立派な登山道がある。今年はどうとう登ることができた。

・朝5時起床。羊蹄山の肩から太陽が顔を出してきた。隣の大阪のご夫婦はまだ寝ている。今日は羊蹄山を登るとか云っていたが、今から起きたのでは遅すぎるぞ、いい加減な人だな。朝食に昨日買っておいた納豆巻きを出したが、糸を引いていて腐る一步手前か。少し食べたが殆ど残して廃却。コーヒーで消毒?して朝食修了。6時過ぎ、やっと起きてきた大阪のご夫婦に挨拶して尻別岳目指して出発した。途中走りながら羊蹄山と尻別岳を眺めると、中腹に雲がかかっているが頂上付近は晴れている。

天気はいいぞ。

・登山口はルスツリゾートの横、257号線から林道を入った奥にある。広い駐車場に登山道入口の大きな看板が立っている。鳥取ナンバーの車が1台止まっていた。入山届けに記入して出発したが、他に今日入山者の記録は無い。ということは今日は私一人か。長い笹原のアプローチの後リフトの駅の横を通り尾根への林間コースを登る。

7時半だというのに真夏の太陽が容赦なく照り付けてメチャ暑い。この山がきれいなすり鉢型に見えるのは、北面や東面から見たときで、実は南西側に長い尾根を張り出していて、ルスツリゾートのスキー場まで繋がっている。登山道はルスツスキー場の横から登り、この尾根を延々と辿って山頂まで付けてある。直登ですぐ山頂かと思ったのだが大違い。真夏の炎天下、木陰など全く無い草付きの尾根道を、右手下にルスツリゾートを見ながらひたすら暑さを我慢して歩いた。休む度にシャツを脱いで汗を搾ると、ザアザアと流れ落ちた。



ニセコビュープラザの夜明け



登山口駐車場



眼下にルスツリゾートを見下ろす



コルから山頂の遠望



・コルから山頂までは直登に近い標高差 100m もある悪路の急坂。汗と土埃にまみれてやっと山頂に到着した。でも道の脇にはナデシコや クガイソウ、コバノギボウシ、エゾシオガマ、エゾカンゾウなどいろいろな花が咲いているお花畑が広がり、疲れと暑さを忘れさせてくれた。



尻別岳山頂



後志羊蹄山が聳えて見える

途中で下山する鳥取ナンバーの男性とすれ違ったので山頂は私一人。残念ながら雲が湧いてきて視界が良くないが、雲が切れると目の前に羊蹄山が高く聳えて現われる。山頂一人ぼっちを十分楽しんで同じ道を下山した。結局今日登ったのは鳥取ナンバー（実は北海道に転勤した来たそうだ）の男性と私の2人だけだった。真夏の暑さの中、長い尾根道と山頂直下の悪路の急坂で、4時間弱の結構手ごたえのある山だったが、花も多いし眺めもいい山だった。

・まだ昼前だ。とにかく汗だらけの着物をなんとかしたい。ルスツのキャンプ場へ直行し、シャツ、下着からズボン、帽子まで洗濯し、車のドアをすべて開放して洗濯物を干した。洗濯物が乾くのを待つ間、昼飯を食べながら今日の宿泊をどこにしようか検討。ニセコか真狩か京極か、いろいろ迷ったが一昨日にも泊った水が冷たくてきれいな京極に決定した。

・京極温泉にゆっくり浸かって今日の汗と疲れを流し、道の駅の駐車場に今日の寝場所を定めた。一時雨がぱらついたがすぐ晴れて薄日も差し始めた。冷たい水でビールを冷やし、木陰のベンチで日課の写真の取り込みや日記を書いたりしている。

さっきまで京極湧水を見る観光バスがいっぱい来ていて賑やかだったが、5時前にはみんな



居なくなり今は静かで、木陰は涼しくて気持ちがいい。ビールを開けてそろそろ夕食に入ろうとしたとき、隣に宇都宮ナンバーのキャンピングカーで犬を連れた若夫婦がやってきた。私には挨拶もせず、遠くに止まっている同じ形のキャンピングカーのところへ出かけて行って歓談し始めた。車に残された犬がキャンキャンなき出しうるさくてたまらない。若夫婦に注意すると犬を連れて行ってまた話をしている。

やれやれやっと静かになって夕食も旨いし、ビールも3缶空いていい気分。ここは電波状態が悪くテレビも見えないのでやることもなし。今日の疲れもあり早々と横になった。とどうだろう、またもや隣の犬がキャンキャンなき出してうるさくて寝られない。こりゃたまらん。頭にきて「何とかしてくれ」と直談判。若夫婦は車を動かして、例の同型キャンピングカーの横へ移動していった。これでやっと静かな夜を迎えられ熟睡に入った。

・せっかく静かで涼しいいい環境で一夜を過ごそうと思ったのに、思わぬ後味の悪い夜になってしまった。

* さぞかし若夫婦は「意地悪爺いめ」と思っているだろう。

でも最近犬を連れた車が多く、朝早くから散歩に歩いているのを多く見かける。道の駅の駐車場は公共の場所だから他人に迷惑をかけるようなことは遠慮してもらいたいと思う。